

黒商発第 号
平成 27 年 12 月 7 日

黒石市長
高樋 憲 様

黒石商工会議所
会頭 村上 信吾

平成 28 年度黒石市に対する要望事項提出について

時下 益々ご清祥のことと存じ上げます。

日頃より当所事業運営につきましては、格別のご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、全国 514(平成 26 年 4 月現在)ある商工会議所では、商工会議所法の定めにより、地区内における商工業の総合的な改善発達を図るとともに、社会一般の福祉の増進に寄与することを目的に活動を展開しており、地域経済の振興と地域社会の発展に大きな役割を有しております。

こうした中、当所では定款に基づく活動として商工業の振興はもとより、地域社会に関する諸問題について商工業の皆様の意見・要望を汲み上げ、国や県、市などの関係機関に対して建議、要請活動を行っております。平成 28 年度の黒石市に対する要望事項として、会員で構成される部会並びに委員会より提案された意見をもとに協議検討し、とりまとめたものを常議員会で機関決定し実施するものであります。

つきましては、黒石市の今後のさらなる発展のためにも、要望書に掲げる項目について実現が図られますよう特段のご配慮をお願いいたします。

なお、本要望事項につきましては、平成 28 年 2 月末日までにご回答をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

平成28年度黒石市に対する要望事項一覧

◆ 「 福 祉 」	
1	黒石病院に対する要望について（継続・一部変更）
2	地域医療の充実に係る要望について（新規）
◆ 「商工業振興」	
3	シャッター街の解消について（継続・一部変更）
4	黒石市制度融資の拡充について（継続）
5	地域産業振興・雇用拡大につながる交付金について（継続・一部変更）
◆ 「都 市 環 境」	
6	定住・交流人口増加対策の強化について（継続・一部変更）
7	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）
8	黒石市の空き家調査について（継続・一部変更）
9	黒石市民ガイドブックに係る要望について（新規）
10	ふるさと寄付金に関する要望について（新規）
◆ 「観 光 振 興」	
11	黒石よされ誘客の促進について（継続）
12	近隣市町村を回遊するためのイベント情報の一元化について（継続・一部変更）
◆ 「文化・教育振興」	
13	市民文化会館の早期再開とその活用について（新規）

黒石市長

高 樋 憲 様

平成 28 年度

黒石市に対する要望事項

黒石商工会議所

平成 28 年度黒石市に対する要望

◆ 「福 祉」

1. 黒石病院に対する要望について（継続・一部変更）

昨年、受付・診療待ち時間の改善について要望したところ、内科と整形外科において予約制を導入し待ち時間の短縮と混雑の緩和に努めているとの回答を受け、ご配慮いただいている事については認識している。しかし予約時間と実際を受診時間に関きがあり、場合によっては数時間を要する状況が見受けられる。予約時間の設定方法の見直し、または予定時間から長時間の遅延が明らかになった際には、受診者へアナウンスしていただく等、さらなる改善策を講じていただきますよう要望いたします。

また、予約制を導入していない他の診療科に対しても受付・診療待ち時間の改善に向けて、引き続きご検討いただきますよう要望いたします。

2. 地域医療の充実に係る要望について（新規）

黒石市内には現在 3 件の病院があるが、診療科が 10 以上の病院は黒石病院のみである（黒石病院 15 科、黒石厚生病院 8 科、黒石あけぼの病院 4 科）。このため、一日に複数科受診したいという患者が診療科の最も多い黒石病院に集中し、過剰に混雑する一因となっている。また、日本医師会の地域医療情報システム「JMAP」によると、黒石市の診療所数は内科系、外科系、皮膚科系、眼科系、耳鼻咽喉科系、精神科系において全国平均を下回っており、市民の身近に診療所が少ないことも、黒石病院への受診集中を引き起こす要因であると考えられる。

これらの状況を改善するため、より多くの個人医院の開業を促進するような環境の整備（複数科の診療所で形成される医療モールの開設等）、併せて高度な治療が必要な場合には黒石病院との連携が図れるような地域一体となった医療体制の充実に要望いたします。

◆ 「商工業振興」

3. シャッター街の解消について（継続・一部変更）

平成 27 年度、黒石市へ要望したものであるが、単年度での解決が困難であると考えられるため、引き続き要望したい。

貸し手の物件が老朽化し、借り手となる新規出店者を受け入れる環境整備が整っていないため、市・商工会議所・商店街団体が連携し、黒石市の環境に合致した先進地事例の研究等を行いながら、仕組みの構築に当たることを要望いたします。

4. 黒石市制度融資の拡充について（継続）

黒石市制度融資の小口資金特別保証制度資金並びに事業活性化資金特別保証制度については、当該保証料を市が負担していることで地域事業者の資金繰り円滑とともに経営安定に寄与しています。しかしながら、融資枠に対する市負担保証料の予算額が不足する場合、必然的に自己負担しなければいけない事業者があり、不公平感が生じています。については、隣接する他市同様、市負担保証額を貸出限度総額まで拡大し、地域事業者の資金繰り円滑化を図るためにも下記について制度内容の拡充を要望します。

①貸付総額に対する全額保証料補給

②小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進の P R

5. 地域産業振興・雇用拡大につながる交付金について（継続・一部変更）

地方創生のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」における主な施策のなかに「若者雇用対策の推進、正社員実現加速」が掲げられており、雇用の拡大を図ることは、人口減少問題の克服に繋がるものとする。有効求人倍率は回復傾向にあるものの、若年者の入社してから 3 年以内の離職率は依然高い状態であり、若年者の就業定着率の改善に向けた施策を講じることが求められている。

黒石市から国・県・関連団体等に対し、平成 25 年度まで実施された「実務研修型雇用対策事業」に代る事業主・求職者の両者にとって有効な交付金制度の検討を働きかけていただくとともに、その情報提供も要望いたします。

◆ 「都市環境」

6. 定住・交流人口増加対策の強化について（継続・一部変更）

黒石市の人口は、1975年（昭和45年）以降増加を続けたが、1980年（昭和55年）の40,755人（国勢調査）をピークに減少を続け、2015年（平成27年）9月末日現在では、35,154人（住民台帳）となっている。総務省国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると2040年には約22,400人、平均年齢55.2歳と試算され、人口減少と少子高齢化が一層進むものと見込まれている。

このことは、地域経済にマイナス効果をもたらすものであり、これに歯止めをかけることは極めて重要な課題であるとの認識から、定住・交流人口増加対策の一環として次の通り要望いたします。

- ①働く場の確保による定住人口の増加と賑わい再生を図るため、既存誘致企業の留置活動の推進と優良企業の誘致活動の強化を図ること。
- ②文化会館をはじめとする行政関連施設の効率的な運用による交流人口の増加を図ること。

7. 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市を結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。この、交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを要望いたします。

8. 黒石市の空き家調査について（継続・一部変更）

平成27年度、黒石市へ要望し「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の規定に基づき、空き家対策を推進していくとの回答をいただいている。民間金融機関においても国の法指針を受け、空き家の解体・リフォーム費用に活用できる商品を開発している背景もあり、引き続き対策を講じていただくことを要望いたします。

9. 黒石市民ガイドブックに係る要望について（新規）

黒石市の行政情報や文化・観光情報を掲載した黒石市民ガイドブックであるが、一度目を通すと、その後の利用頻度が低いという声があり、十分に活用しきれていない状況がある。そこで「歩きやすいまち」をテーマに、お店の情報を記載した美容院マップや飲食店マップと100円バスの運行コースがリンクした「まちなか便利マップ」のような情報を盛り込み、そこに割引券を添付する等、市民に限らず市外から転入してきた方にも有効に使ってもらえるような魅力ある内容にさせていただくことを要望いたします。

またこの度の改訂版は、市外の出版社に作成を依頼されておりますが、今後は当地域内の景気回復に向け、地元業者への発注をご検討いただくよう要望いたします。

10. ふるさと寄付金に関する要望について（新規）

市内・外在住を問わず寄付金を募り、「人材育成」「地域福祉の充実」「歴史的景観の保存」等に活用する「ふるさと寄付金」を実施しているが、個人住民税特例控除額引上げ実施や、3年後の実施を目指す企業版ふるさと納税の検討により、これまでより寄付金の募集事業や特典に「地域色」と「もてなしの心」が求められる。ふるさと寄付金制度が、より地域の活性化に繋がる有意義な取り組みとなるよう、下記の内容についてご検討いただきたく要望いたします。

- ①地場産品のPRに繋げるためにも、特典品のラインナップの更なる充実。
- ②「黒石ねぶた」「黒石よされ」の観覧チケットに加え、黒石市の良さを紹介する黒石まちめぐりツアーへの招待（体験型特典）や中野もみじ山の楓の植樹の寄付者名簿にお名前を刻む等、感謝の表れを重視する名誉型特典の充実。
- ③複数年にわたる寄付者にはポイント制による特典を用意する等、黒石市を応援してくれるリピーターを大切にする仕組みづくり。

◆「観光振興」

11. 黒石よされ誘客の促進について（継続）

黒石よされの開催・運営にあたり、観光客の受け入れ態勢（トイレ・駐車場・照明）の不備や関連設備の老朽化、また祭り参加に係る個人の負担増による参加市民の減少など、多くの問題を抱えている。「黒石よされ」が昔の活気を取り戻すよう、黒石を代表する市の祭りであるとの認識のもと、さらなるご支援を要望いたします。

12. 近隣市町村を回遊するためのイベント情報の一元化について （継続・一部変更）

交流人口の拡大を図り、まちを活性化しようとする取り組みが各地域で進められている。しかし季節的要因もあり、日程が重複している事例が数多く見受けられる。実際のイベント会場での滞在時間は予定した時間より短いこともある。そこで同時期に近隣で行われるイベント会場を回遊できるような情報提供の在り方を要望いたします。

◆「文化・教育振興」

13. 市民文化会館の早期再開とその活用について（新規）

老朽化した舞台・照明設備の改修や、人件費を含めた管理運営費の負担が困難であることから、2008年4月より休館している文化会館であるが、再開を望む多くの市民・団体の声を受け、一部再開に向け様々な可能性を模索・検討されていることは認識している。再開の時期についても明言できる段階にはないという現状ではあるが、一部再開される施設が「活動の場がなければ、子供たちの育成や市街地の活性化はない」という観点から、「市民間交流の場」「文化活動の発表の場」として多人数が収容可能な施設としてリニューアルされることを要望いたします。

以上、平成28年度黒石市に対する要望事項として要望いたします。

平成27年12月7日

黒石商工会議所

会 頭 村 上 信 吾